

# まちづくりアンケートまとめ（公共交通関係抜粋）

－「大井町まちづくりアンケート調査」調査結果報告書から－

令和元年 12 月

## （1）大井町まちづくりアンケート調査について

### 1. 調査の目的

大井町では、平成 23 年度を初年度とする第 5 次総合計画「おおいきらめきプラン」に基づき「ひとづくり・まちづくり・未来づくり」をまちづくりの目標として、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。現行の総合計画の計画期間が 2020 年度に終了することから、2021 年度以降を計画期間とする次期総合計画を策定する必要があります。

当該アンケートは次期総合計画の策定にあたり、町民の方々や職員の意見や希望を把握し、計画策定に反映させることを目的に実施しました。調査方法等については、以下のとおりです。

この資料は、その調査結果の公共交通関係についてまとめたものです。

### 2. 調査方法・回収率

	住民アンケート	職員アンケート
対象地域	大井町全域	大井町役場
対象者	全町民（16 歳以上の男女）	全職員
母集団	17,194 人（令和元年 7 月末日時点）	142 人
標本数	3,000 票	142 票
抽出方法	無作為抽出	全職員
調査方法	郵送配布・回収	Excel アンケート票データ配布
調査期間	令和元年 8 月 9 日～8 月 31 日	令和元年 8 月 20 日～9 月 10 日
有効回収数	917 票	142 票
有効回収率	30.6%	100%

## (2) 調査結果概要

### 1. 住民アンケート

#### ① 住民の属性について

- ・通勤・通学以外での買物、通院など日常の生活圏（問 5）について、「町内」が 82.6%と最も高くなっており、次いで「小田原市」（66.2%）となっている。
- ・大井町に引き続き住みたいか（問 10）について、「住み続けたい」「住み続けてもよい」が 81.1%と前回調査時（78.7%）から若干増加した。
- ・今後も住み続けたい理由（問 10-1）について、「親がいる又は持ち家があるから」と答えた方が 45.4%（前回 43.3%）と最も高く、以下「生活環境が良いから」（27.8% 前回 30.6%）、「買い物が便利だから」（23.7% 前回 20.9%）、「自然が多いから」（22.3% 前回 27.7%）となっており、前回アンケートと同様の結果になっている。

#### ② 大井町の将来像や今後のまちづくりについて

- ・大井町のまちづくりにおいて、どのようなことを大切にしていきたいか（問 11）について、「安心」が 42.2%、「安全」が 36.2%、「便利」が 35.6%となっている。
- ・大井町に住みたくするために、町に必要な施策（問 13）について、「子育て環境を整備すること」が 47.3%と最も高く、「交通網を整備し利便性向上を図ること」が 46.1%、「高齢者がいつまでの健康で活躍できる環境を整備すること」が 39.5%となっている。
- ・今後の福祉サービスの方向性（問 15-1）について、「福祉サービス水準を向上（維持すべき）」と回答した方が約 8 割を占めており、「福祉サービス利用者の負担が増えても、福祉サービス水準を維持（向上）すべき」が 46.8%と最も高く、負担が増えてもサービスの維持（公共）を望む声が多い。同様の傾向は「都市基盤整備関連サービス」（問 15-2）、及び「公共施設関連サービス」についても見られ、負担が増えても、サービス水準の維持（向上）を望む声が見られる。
- ・今後 10 年間で町が特に取り組む必要があると感じる施策（問 18）について、「安心・安全な暮らしの確保」が 51.0%と最も高く、次いで「道路交通網の整備、利便性の向上」（46.0%）、「高齢者福祉施策」（41.7%）となっている。上記の問 11、問 13、問 18 の傾向より、「安心」「安全」なまちづくりや、交通の利便性の向上など「便利」なまちづくりを求める声が多い。

#### ③ 行政の施策や事業への取り組み・町職員への印象について（次頁記載）

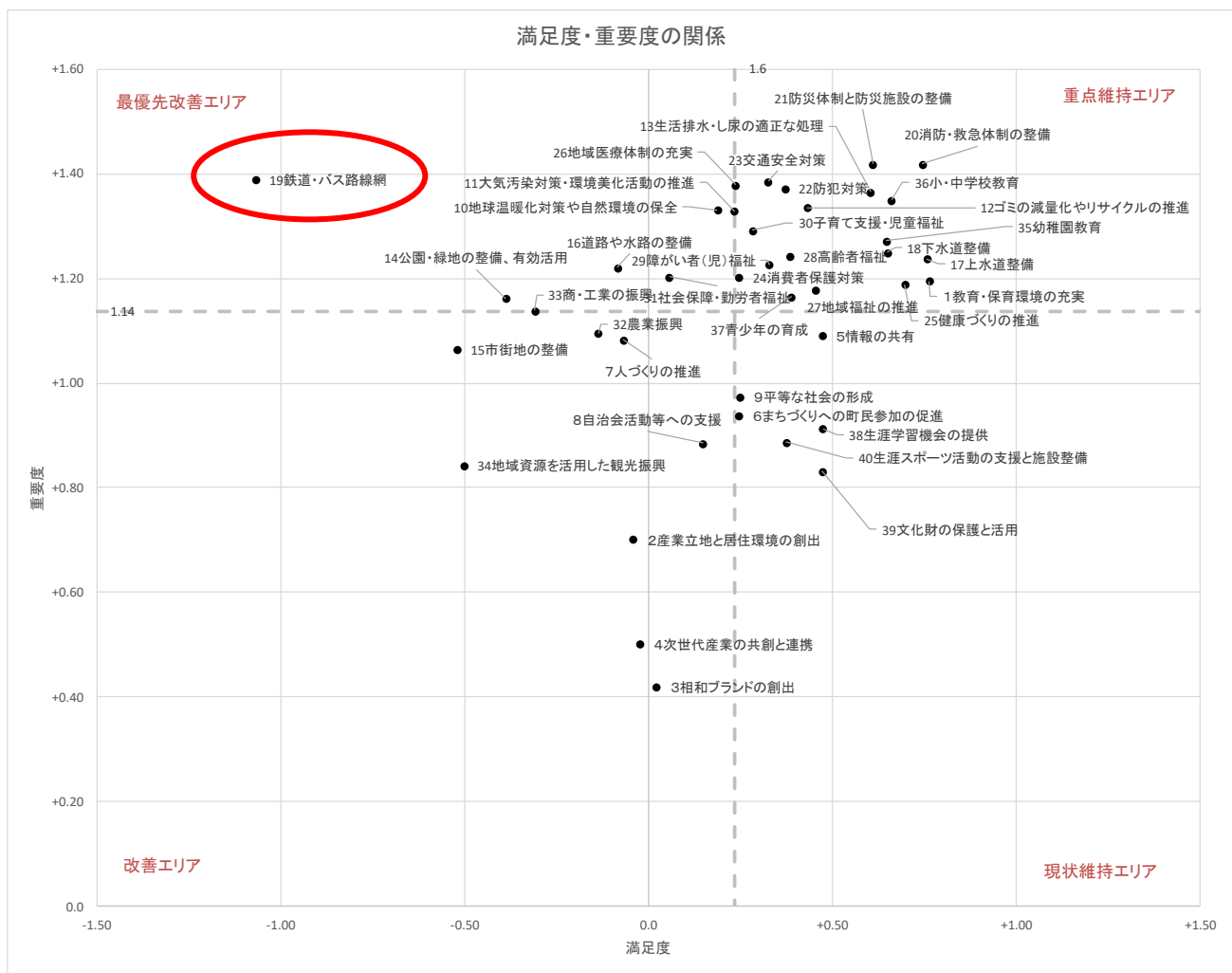
#### ④ まちづくりへの参加と協力について

- ・町に関する情報をどのように得ているか（問 20）について、「広報おおい」で情報を得ているという回答が 87.2%と最も高かった。一方「Facebook」と回答したのは 0.9%にとどまっている。
- ・町に対して意見を伝える方法（問 24）について、「アンケート調査で十分である」が 35.1%と最も高く、「町で開催する懇親会やワークショップ」（12.2%）、「議員や町・専門家にまかせる」（10.5%）、「直接窓口で伝えたい」（10.5%）が同程度で続いている。
- ・町政への住民の参画について（問 25）について、「住民の声をよく聞き、行政が責任をもって判断すべきだ」が 50.2%で最も高く、「住民もまちづくりに参加して、協働のまちづくりをすすめるべきだ」が 31.1%と次に続いた。

### ③-1 行政の施策や事業への取り組み

大井町のまちづくりの取組みについての満足度と重要度（問 17）について、項目ごとに相関係数を算出した上で、縦軸を重要度、横軸を満足度としてグラフ上に表示する。満足度、重要度それぞれの全体平均を中心に4つの領域に区分し、以下の区分で施策の改善の緊急性等を分析した。

領域	説明
最優先改善エリア	重要が高いものの、満足度が低い領域。最優先で改善が必要
改善エリア	重要度は低く、満足度も低い領域。重要度が低いので最優先ではないものの、何らかの改善が必要
重点維持エリア	重要度が高く、満足度も高い領域。現状は問題ないが、町民にとって重要度の高い施策であるため、満足度の水準を保つように注意が必要
現状維持エリア	重要度が低い一方、満足度が高い領域。満足度は高いので現状を維持すれば十分



重要度はすべての施策・事業でプラス評価であったため、必要ない施策はないといえる。一方、満足度では-1.5~+1.0と幅があり、特に「19. 鉄道・バス路線網」については重要度が高いが、満足度が他の施策と比べて極めて低いため最優先に改善すべき事項であるといえる。

### ③-2 町職員への印象について

- 町職員の窓口や電話での対応の印象（問 19 (ア)）について、「良い」（26.2%）、「どちらかといえば良い」（44.4%）を合わせると約7割が良い評価をしている。

## ⑤ 自由意見

まちづくりについての自由意見において、住民アンケートでは「まちづくり全体」「情報公開・開示」「環境共生」「生活環境」「ごみ」「都市整備」「公共交通」「安全・安心」「福祉健康」「産業振興」「教育文化」「行財政」「住民参加」「その他」に概ね分類される。主な意見は以下の通りである。

まちづくり全体	安心・安全なまちづくり、子育て世代が住みやすいまちづくり、自然のあるまちづくり、公共施設の整備・見直し、ITや最新技術の活用、
情報公開・開示	情報公開・開示
環境共生	再エネ利用
生活環境	街灯の設置、外来生物/有害鳥獣対策
ごみ	ごみ回収日、ごみの出し方
都市整備	道路の整備・拡幅、歩道の整備、公園の整備、子どもが遊べる場所の設置、ベンチの設置、駅前・ロータリーの整備、スーパー/コンビニの設置、空き家対策、電柱の地中化
公共交通	鉄道・バスの路線増強、バスのICカード（Pasumo・Suica）利用、公共交通機関の連携
安全・安心	運転マナーの指導、防犯対策、防犯カメラの設置、避難所の見直し、
福祉健康	子育て支援、高齢者福祉支援、健康増進の推進
産業振興	商業施設/娯楽施設の整備、企業誘致、BIOTOPIAの活用、観光振興
教育文化	学校教育、ひょうたん祭、花火大会、英語教育の強化
行財政	町議会議員、町民税/公共料金の見直し、自治会費、合併、
住民参加	意見交換、意見募集の手法、ボランティア、交流
その他	アンケート調査について、感想、応援

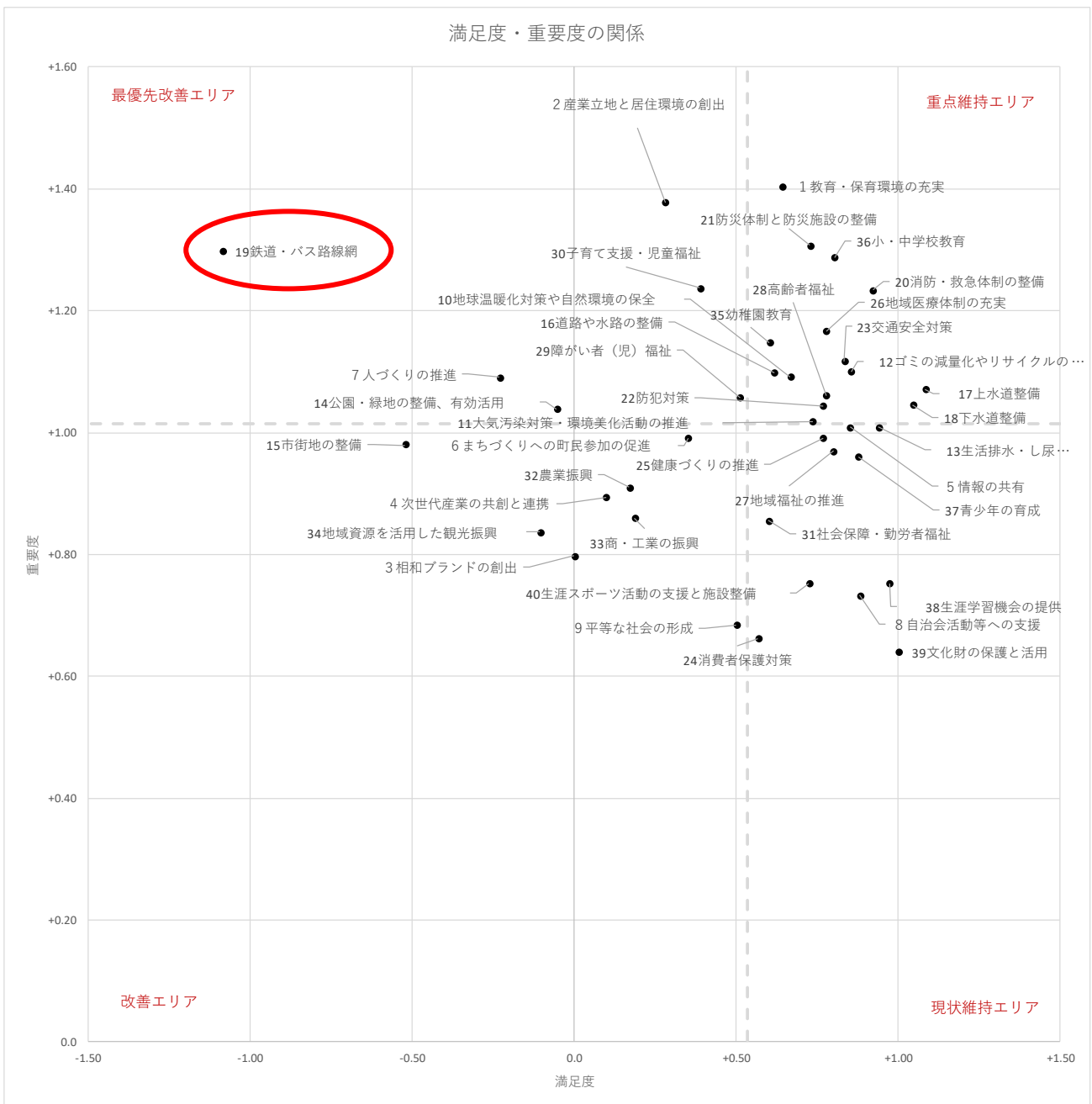
## 2. 職員アンケート

- ・今後10年間で町が特に取り組む必要があると感じる施策（問3）について、「道路交通網の整備、利便性の向上」が50.7%と最も高く、「子育て支援の充実」が49.3%、「産業の誘致」が43.7%となっている。町民アンケートの結果と比べ、「道路交通網の整備、利便性の向上」はいずれも同様に高い割合となっているが、「安心・安全な暮らしの確保」（町民：51.0% 職員：31.0%）、「高齢者福祉施策」（町民：41.7% 職員：23.2%）において差が見られる。
- ・地方分権や行財政改革を進めるために、重点的に取り組むべきこと（問4）について、「人材の育成・確保」が54.2%と最も高く、次いで「民間活力の活用」が37.3%、「広域的な自治体連携の強化」が28.9%となっている。
- ・「大井町第5次総合計画」の利用状況（問6）について、「年に数回程度利用している」が44.4%と最も高いが、「見たことはあるが、利用する機会がない」と回答した方もほぼ同程度いる。
- ・「大井町第6次総合計画」の実行性を高めていくために大切だと思うこと（問8）について、「施策や事業の優先度を明確にした計画とする」が44.4%で最も高く、次いで「計画の実行に対する、人員的な確保がしっかりしていること」が32.4%と高くなっている。

## 行政の施策や事業への取組（職員版 問2）

大井町のまちづくりの取組みについての満足度と重要度（問17）について、項目ごとに相関係数を算出した上で、縦軸を重要度、横軸を満足度としてグラフ上に表示する。満足度、重要度それぞれの全体平均を中心に4つの領域に区分し、以下の区分で施策の改善の緊急性等を分析した。

領域	説明
最優先改善エリア	重要が高いものの、満足度が低い領域。最優先で改善が必要
改善エリア	重要度は低く、満足度も低い領域。重要度が低いので最優先ではないものの、何らかの改善が必要
重点維持エリア	重要度が高く、満足度も高い領域。現状は問題ないが、町民にとって重要度の高い施策であるため、満足度の水準を保つように注意が必要
現状維持エリア	重要度が低い一方、満足度が高い領域。満足度は高いので現状を維持すれば十分



町民アンケート同様に重要度はすべての施策・事業でプラス評価であり、「19. 鉄道・バス路線網」満足度が他の施策と比べて極めて低い。

## 大井町の発展や豊かな暮らしを実現するために取り組むべき新たな施策・事業（問5）

具体的な提案として最も多く回答頂いたのは「19. 鉄道・バス路線網」についてであった。次いで「2. 産業立地と居住環境の創出」、「1. 教育・保育環境の充実」、「4. 次世代産業の共創と連携」についても多く回答いただいている。

施策・実施事業		選択 回答者数 (人)	割合 (%)
1	教育・保育環境の充実	19	13.4
2	産業立地と居住環境の創出	20	14.1
3	相和ブランドの創出	11	7.7
4	次世代産業の共創と連携	19	13.4
5	情報の共有	1	0.7
6	まちづくりへの町民参加の促進	5	3.5
7	人づくりの推進	9	6.3
8	自治会活動等への支援	3	2.1
9	平等な社会の形成	1	0.7
10	地球温暖化対策や自然環境の保全	1	0.7
11	大気汚染対策・環境美化活動の推進	1	0.7
12	ゴミの減量化やリサイクルの推進	0	0.0
13	生活排水・し尿の適正な処理	0	0.0
14	公園・緑地の整備、有効活用	11	7.7
15	市街地の整備	6	4.2
16	道路や水路の整備	5	3.5
17	上水道整備	1	0.7
18	下水道整備	1	0.7
19	鉄道・バス路線網	29	20.4
20	消防・救急体制の整備	2	1.4
21	防災体制と防災施設の整備	2	1.4
22	防犯対策	0	0.0
23	交通安全対策	0	0.0
24	消費者保護対策	0	0.0
25	健康づくりの推進	4	2.8
26	地域医療体制の充実	3	2.1
27	地域福祉の推進	1	0.7
28	高齢者福祉	2	1.4
29	障がい者（児）福祉	0	0.0
30	子育て支援・児童福祉	13	9.2
31	社会保障・勤労者福祉	0	0.0
32	農業振興	4	2.8
33	商・工業の振興	3	2.1
34	地域資源を活用した観光振興	9	6.3
35	幼稚園教育	2	1.4
36	小・中学校教育	0	0.0
37	青少年の育成	0	0.0
38	生涯学習機会の提供	5	3.5
39	文化財の保護と活用	0	0.0
40	生涯スポーツ活動の支援と施設整備	6	4.2

### (3) 住民アンケート自由意見

今回実施した住民アンケートの末尾に「自由意見欄」を設け、大井町の発展や町民の皆さんの暮らしを豊かにするための意見やアイデア、夢を記入していただきました。記入された内容を公共交通関係について抜粋し、項目・自治会ごとに分類・整理しました。

#### 1. 整理項目

1 交通	1-1 交通モード (サービス水準)	1-1-1 バス
		1-1-2 タクシー
		1-1-3 鉄道
		1-1-4 コミュニティバス等
		1-1-5 その他
	1-2 駅・バス停・案内	
2 道路・周辺整備		
3 交通施策		
4 全般		

#### 2. 項目別自由意見（公共交通関係抜粋）

一 交通	一 一 交通 モード	一 一 一 バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの利用などしたことがない。</li> <li>・新松田・開成へのバスの本数を増やして、どんどん利用しやすくして欲しい。</li> <li>・箱根登山バスの方が運営が上手く感じる。誘致してもらいたい。</li> <li>・電車を増やせないなら、バスを増やして欲しい</li> <li>・開成駅から大井町を周るバスを走らせると通勤の人はたすかると思う。</li> <li>・バス便の増加。</li> <li>・役場発 or 東名高速道の駐車場（相和地区）発のバス（町営バス）便を出し、通勤の便を良くする。これによる駐車場利用は無料にする（区域を決めて）。朝夕は20分間隔に新松町と国布津への便を出す。</li> <li>・常に町中をバスが走っている。出かける事に不安を感じない町を望みます。</li> <li>・バスは御殿場線ダイヤを補完するダイヤで運行頂きたいと思います。</li> <li>・町役場から国府津駅までバスを出す等してほしいです。</li> <li>・バス等他の交通手段をもっと利用しやすくしてほしい。</li> <li>・バスの本数も少ない、小さなバスにして本数を増やすとかはできないでしょうか</li> <li>・バス会社が時間通りに来ない。</li> <li>・町内のバス運行網の充実。開成駅の活用を視野に入れた交通環境の整備を推進していただける様お願い致します。</li> <li>・小田急渋沢駅・峠地区より神奈川中央バスを延伸し、県道秦野大井線（篠窪バイパス）でBIOTOPIAへのアクセスルートの新設を図り（高尾地区からも新設）、大井町への集客を。併せて地域（相和地区）生活移動手段の確保。（先ずは、土日祭日）</li> <li>・バスの本数が少ない為、車など足がないと不便。</li> </ul>
---------	---------------------	-------------------	---

一 交通	一 交通モード	一 二 タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24時間呼べるタクシーが欲しい。</li> </ul>
		一 三 鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “スイカ” が使用できるといいなあ等です。</li> <li>・ 御殿場線の本数を増やしてほしい。</li> <li>・ 御殿場線の再度東海道線乗り入れ（それも小田原にも）を是非実現したい。</li> <li>・ 本数が少なく、台風や大雨等の天候に弱く利用制限が限られてしまうのが難点です。</li> <li>・ 運転見合わせの際、近い交通機関まで送迎する</li> <li>・ 御殿場線の本数が少なすぎて交通の便が悪い。</li> <li>・ 御殿場線の改札タッチ機は、まったく無意味。スイカ、パスモがつかえない。不満。</li> <li>・ JR御殿場線については、近隣の沿線自治体（小田原市、松田町、山北町）と協力し、助成して国府津～山北（もしくは松田）間の運行を増やす施策を行なうてはどうか？</li> <li>・ 日中クラブ活動に行くのに10時台や13時台ものすごく不便。</li> <li>・ スイカで国布津乗り換えができないこともとても不便で困っています。</li> <li>・ 1本あたりの車両を減らしてでも、本数を増やすべき。最低でも1時間あたり3本にし、6時～24時までにはこれに準ずる。</li> <li>・ 国府津駅から松田駅については、小田急と共同利用することを提案。</li> <li>・ 御殿場線の利便性（本数、運行時間）の向上を進めていただきたい。</li> </ul>
		一 四 コミュニティバス等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巡回バスの路線を増やして、車利用のない町づくりと夢は多いです。</li> <li>・ 運転が好きな方にガソリン代+α位でお願いできるシステムがほしい。</li> <li>・ 町では巡回バスが出ていますが、まずバス停までが遠いという現状です。</li> <li>・ 高齢者が気軽に外出する事が出来るように、町のバスを使わせてほしいです。</li> <li>・ コミュニティバスで病院やスーパーに行けると良い。</li> <li>・ 税金を投入し、コミュニティバスの料金をできるだけ安くする。</li> <li>・ 相和地区で催し物がある時、土日でも福祉バスを運転してほしい。</li> <li>・ 町を巡回するバス（1回100円とか）で低額ながあればなあと思います。</li> <li>・ 送迎サービスのようなものなども、良いかもしれません。</li> <li>・ 巡回福祉バスについて。小田原駅やダイナシティまで巡回してほしいです。</li> <li>・ もっとコミュニティバスを出してほしい。</li> <li>・ 町内核施設巡回用バスの新設。（幼稚園バス等、稼働時間外車両の有効活用）</li> <li>・ 高齢ドライバーの免許返納を推進する為、町内循環バス等の充実化（無料化）を計る。</li> <li>・ 高齢者や体の不自由な人などが1人で買い物や用事を済ませられるよう、大井町の主な所に行けるバスを午前と午後1本ずつあると積極的に外出が出来ると思う。</li> <li>・ 自家用車が主な交通手段ですので、コミュニティバスなどの充実を図っていただければ、なお自動車運転免許証返納しやすいと思いますのでよろしくお願いします。</li> </ul>



<p>Ⅰ 交通</p>	<p>Ⅰ-Ⅰ 交通モード</p>	<p>Ⅰ-Ⅰ-Ⅰ その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通が不便である。</li> <li>・公共的に利用出来る交通手段を増やして車を持っていなくても、移動する事が楽になると良いです。</li> <li>・高齢化が進んで来ているので、交通機関の充実を図れたら良いなあと感じています。</li> <li>・隣接する市・町と協力してバスや交通系などのサービスを作る。</li> <li>・高齢者が増える中、鉄道・バスなどの公共機関が全く整っていない。</li> <li>・現状のままだと移動できずに自宅にひきこもる高齢者が増える一方だと思う。</li> <li>・通勤・通学のため、国府津まで自家用車で出ている人が多いのも現実。</li> <li>・町としてまずは第一にバス・鉄道の整備に取り組むべきではないでしょうか。</li> <li>・免許証を返納した人でも出かけやすい交通手段を増やしたら良いと思う。</li> <li>・交通機関を増やしてほしい。</li> <li>・自家用車がないと生活しづらい状態にあります。</li> <li>・生活の安全性を確保しながら、交通の便を充実させていただくことがありがたい。</li> <li>・特に小田急（新松田・開成・栢山）へのアクセスの対策を希望します。</li> <li>・高齢者の移動手段の充実（車の運転は心配）</li> <li>・路電等で活気を取り戻している自治体もあると聞きます。他町とも連系した移動手段があるとよい。</li> </ul>
	<p>Ⅰ-Ⅱ 駅・バス停・案内</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の巡回バスの利用の仕方が良く分からないので、詳しく教えて頂けたら。ホームページももう少し見やすくなるといいなと感じます。</li> <li>・巡回福祉バス「ふれあい悠々」の乗り方、時間を詳しく分かりやすく広報誌などにのせてほしい。（バス停など）</li> </ul>	
<p>Ⅱ 道路・周辺整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模金子駅に送迎の車が駐車出来るような駐車場付きの公園にしたら良いと思う。JR利用時に駐車出来る場があると良いと思う。</li> <li>・御殿場線の2つの駅は、時間をつぶせる場所が駅周辺に一つもない。コンビニや喫茶店があれば便利だと思います。</li> <li>・切符も買えないので都内に行く時は絶対に使いたくないです。</li> <li>・ロータリーもないので、子供を駅まで迎えに行った時は車を止める場所がない。</li> <li>・全体的に御殿場線の渡る道が狭く歩行者が危険。・相模金子駅前の道路整備。</li> <li>・駅前の整備…とても暗い。</li> <li>・相模金子駅が奥まっているので、駅が存在が薄い。ロータリーやお店、チェーン店の居酒屋などが駅前にあれば良い。</li> <li>・大勢が集まるシンボリックな場所がない（例えば駅前など…）</li> <li>・上大井駅前が汚い。さびれている。昔からの店舗もあるが、良いイメージがないので撤去して再開発。駐輪場は狭くして（立体）イベント等を行なうようにすれば良い。</li> <li>・鉄道の更なる延伸化、交通面で南北の基幹路線と飽和状態の国道255号のバイパス化を図り、利便性のある拠点地域造りを図れば、波及発展も考えられる。</li> </ul>		

<p>∞ 交通 施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車免許返納者へ「おでかけタクシー券」を配って欲しい（5千円／月）。</li> <li>・他の町の例では、タクシー券を発行し、家族の人数分与えられるそうです。</li> <li>・タクシーチケットを町からもらえたりすれば、免許を返納することを考慮できるようになるかもしれないなあと思います。</li> <li>・高齢者の免許証自主返納に伴う特典を町独自の魅力あるものにする。</li> </ul>
<p>⇨ 全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからいつまで運転できるのか、運転して良いのか考えてしまいます。都会ではないので、バスの数も少ないし、不安はいっぱいです。</li> <li>・交通の便が良くなる方法を考えてほしいです。自家用車がない人は、なかなか住みづらいです。</li> <li>・免許がなくても不便と感じない町作りをしてもらえると良いなと思います。</li> <li>・車がないと生活ができないのをもう少し改善して頂けると嬉しいです。大井町は好きですが、交通網を整えてほしいです。</li> <li>・交通の不便さが暮らしを不便にしている。</li> <li>・利便性（公共交通機関）の向上と今ある自然環境の保持を両立させるのは難しいと思いますが、魅力ある街づくりと活性化のためには不可欠だと思います。</li> </ul>

### 3. 地区別自由意見（公共交通関係抜粋）

地区	年齢	意見	項目	
吉原	40～49 歳	高齢化が進んで来ているので、交通機関の充実を図れたら良いなあと感じています。難しいですが…。	1-1-5 その他	
		町の巡回バスの利用の仕方が良く分からないので、詳しく教えて頂けたら…。ホームページももう少し見やすくなるといいな…と感じます。	1-2 駅・バス停・案内	
	70 歳以上	町では巡回バスが出ていますが、まずバス停までが遠いという現状です。	1-1-4 コミュニティバス等	
		車の返納をしたいのですが、するとすぐに不便が生じます。特に南足柄や開成、近隣へも行けなくなります。他の町の例では、タクシー券を発行し、家族の人数分与えられるそうです。	3 交通施策	
新宿	40～49 歳	御殿場線の本数を増やしてほしい。	1-1-3 鉄道	
	60～69 歳	御殿場線の再度東海道線乗り入れ（それも小田原にも）を是非実現したい。	1-1-3 鉄道	
	70 歳以上	高齢者が気軽に外出する事が出来るように、町のバスを使わせてほしいです。すぐにでもお願いしたいです。	1-1-4 コミュニティバス等	
		相模金子駅の公園並びに空地が有りますが、そこへ送迎の車が駐車出来るような駐車場付きの公園にしたら良いと思う。JR利用時に駐車出来る場があると良いと思う。	2 道路・周辺整備	
河原	20～29 歳	交通機関を利用する際、鉄道（御殿場線）を利用しますが、本数が少なく、台風や大雨等の天候に弱く利用制限が限られてしまうのが難点です。生活する際に必要な機関の為、少しでも改善出来る環境を作って頂きたいです。例）運転見合わせの際、近い交通機関まで送迎する等。	1-1-3 鉄道	
		30～39 歳	電車を増やせないなら、バスを増やして欲しい	1-1-1 バス
			御殿場線でもSuicaを使える様にしてほしい。ようやくICカードが利用できると思ったらTOICAだったのでびっくりした。	1-1-3 鉄道
			御殿場線の本数が少なすぎて交通の便が悪い。 コミュニティバスで病院やスーパーに行けると良い。	1-1-3 鉄道 1-1-4 コミュニティバス等
	40～49 歳	開成駅から大井町を周るバスを走らせると通勤の人はたすかると思う。	1-1-1 バス	
		公共交通機関（バスや御殿場線）を良くして欲しい。高齢者の自動車運転・免許返納などのニュースが連日見ます。大井町は細い道が多く、高齢者も多く感じます。大きな事故等が起きる前に対策して欲しい。バス等で循環など。	1-1-4 コミュニティバス等	
		高齢者の移動手段の充実（車の運転は心配）、路電等で活気を取り戻している自治体もあると聞きます。他町とも連系した移動手段があるとよい。	1-1-5 その他	
		大井町には御殿場線の駅が2つ（相模金子・上大井）あるのに、どちらの駅の周りにも何もない。電車の本数が少なく昼間は1時間に1本しかないのに、電車に乗りたくなった時、次の電車が来るまで何十分も待つ時など、時間をつぶせる場所が駅周辺に一つもないの	2 道路・周辺整備	

地区	年齢	意見	項目
		で、コンビニや喫茶店があれば便利だと思います。相模金子駅は切符も買えないので都内に行く時は絶対に使いたくないです。ロータリーもないので、子供を駅まで迎えに行った時は車を止める場所がないので本当に困ります。駅前を整備して使いやすくしたら、人口の増加や企業の参入につながるのではないかと思います。	
		全体的に御殿場線の渡る道が狭く歩行者が危険。さらに車のすれ違いのトラブルをよく見ているので改善してほしい。大井町の発展という意味で考えると妨げになっていると思うので、J Rが動いてくれないのかもしれないが頑張してほしいです。	2 道路・周辺整備
	60～69 歳	御殿場線の改札タッチ機は、まったく無意味。スイカ、パスモがつかえない。不満。	1-1-3 鉄道
		相模金子駅前の道路整備。	2 道路・周辺整備
根岸上	60～69 歳	バス便の増加。役場発 or 東名高速道の駐車場（相和地区）発のバス（町営バス）便を出し、通勤の便を良くする。これによる駐車場利用は無料にする（区域を決めて）。朝夕は20分間隔に新松町と国布津への便を出す。	1-1-1 バス
		公共交通機関を生かした人口増加。鉄道のスイカ利用は不可欠。	1-1-3 鉄道
		税金を投入し、コミュニティバスの料金をできるだけ安くする。→働き盛りの人口が大井町に戻ってくる（通勤しやすいから）。→子供も増え、人口の循環が起きる。	1-1-4 コミュニティバス等
	70 歳以上	常に町中をバスが走っている。出かける事に不安を感じない町を望みます。	1-1-1 バス
		当町にあっても、首都から100km圏内であり、当然、住宅関係の増加が見込まれ、鉄道の更なる延伸化、交通面で南北の基幹路線と飽和状態の国道255号のバイパス化を図り、利便性のある拠点地域造りを図れば、厚木、平塚等の経済停滞、道路アクセスの悪い地域を跨いで、横浜、東京から飛び地の如く、波及発展も考えられる。過去に、相模原市南区相模大野（小田急線の複々線化）、同中央区橋本（京王線の延伸）、横浜市港南区上大岡（京急線、市営地下鉄）、横須賀市汐入の駅前開発等の前例があり、今、正に海老名駅北側にララポート、厚木を見切った小田急線、相鉄線、J R相模線を中心に大開発が行われ、ビルラッシュ化しており、小田急線では、本厚木駅との差別化（ロマンスカー停車）も行われています。当町にあっても、予測規模に依っては、開成町、小田原市等との連絡協議機関の設置も視野に入れた青写真を準備しておく必要性も出て来る。前例の港北地区は、背後に在る東急田園都市線、J R横浜線の住宅群を約50年かけて造り上げており、此れらの例を我が町にも、半世紀後の展望を以って可視化出来る様にベース作りを望む処である。	2 道路・周辺整備
		今、71才で自動車に乗っていますが、これからいつまで運転できるのか、運転して良いのか考えてしまいます。都会ではないので、バスの数も少ないし、不安はいっぱいです。	4 全般
根岸下	50～59 歳	買物・通院等に便利な巡回バス、もしくは路線バスの増発が安心できるレベルで叶えば、自家用車に頼る意識も少しずつ変化するのは。	1-1-4 コミュニティバス等
		利便性（公共交通機関）の向上と今ある自然環境の保持を両立させるのは難しいと思いますが、魅力ある街づくりと活性化のためには	4 全般

地区	年齢	意見	項目
		不可欠だと思います。	
	60～69 歳	巡回福祉バス「ふれあい悠々」の乗り方、時間を詳しく分かりやすく広報誌などにのせてほしい。(バス停など)	1-2 駅・バス停・案内
市場	16～19 歳	隣接する市・町と協力してバスや交通系などのサービスを作るのも良いかと思っています。	1-1-5 その他
	70 歳以上	相和地区で催し物がある時、土日でも福祉バスを運転してほしい。	1-1-4 コミュニティバス等
坊村	40～49 歳	公共交通機関について。バスは御殿場線ダイヤを補完するダイヤで運行頂きたいと思います。	1-1-1 バス
		J R 御殿場線については、近隣の沿線自治体（小田原市、松田町、山北町）と協力し、助成して国府津～山北（もしくは松田）間の運行を増やす施策を行なってはいかがでしょうか？町の魅力があっても交通の便が悪いと人口が増えず、税収が増えないため。	1-1-3 鉄道
	50～59 歳	これは J R の問題ですが、御殿場線でも S U I C A を利用できるようになると良いと思います。	1-1-3 鉄道
馬場	16～19 歳	町役場から国府津駅までバスを出す等してほしいです。	1-1-1 バス
		御殿場線の本数が少なすぎるので増やして欲しいです	1-1-3 鉄道
		駅前の整備…とても暗い。	2 道路・周辺整備
	20～29 歳	御殿場線の本数を増やしていただけるとありがたいです。	1-1-3 鉄道
	50～59 歳	大井町から新松田・開成へのバスの本数を増やして、どんどん利用しやすくして欲しい。箱根登山バスの方が運営が上手く感じる。テリトリーなどあるのかもしれないが、誘致してもらいたい。	1-1-1 バス
		相模金子駅が奥まっているので、駅が存在が薄い。ロータリーやお店、チェーン店の居酒屋などが駅前にあれば良い。	2 道路・周辺整備
70 歳以上	交通の便が良くなる方法を考えてほしいです。自家用車がない人は、なかなか住みづらいです。	4 全般	
宮地	60～69 歳	“スイカ”が使用できるといいなあ等です。	1-1-3 鉄道
		巡回バスの路線を増やして、車利用のない町づくりと夢は多いです。	1-1-4 コミュニティバス等
金手	20～29 歳	交通の便が悪いので移動は自家用車になってしまう。公共の交通機関など無いに等しい。バスの利用などしたことがない。	1-1-1 バス
	40～49 歳	これから、大井町も高齢ドライバーが増え、免許を返納される方も多くなって行くと思います。大井町はまだまだ不便な所がたくさんあり、免許返納を留まっているドライバーさんたちもイッパイいると思います。免許がなくても不便と感ない町作りをしてもらえるといいなと思います。	4 全般
	50～59 歳	町を巡回するバス（1回100円とかで低額ながあればなあと思います。	1-1-4 コミュニティバス等
		送迎サービスのようなものなども、良いかもしれません。何か、町で対策をとってくれたらと思います。子供たちも安心して歩けるようになるといいなと思います。	1-1-4 コミュニティバス等
		大勢が集まるシンボリックな場所がない（例えば駅前など…）	2 道路・周辺整備

地区	年齢	意見	項目
		タクシーチケットを町からもらえたりすれば、免許を返納することを考慮できるようになるかもしれないなあと思います。(以前住んでいた所では、タクシーチケットをもらっていた人がいました。)	3 交通施策
	60～69 歳	24時間呼べるタクシーが欲しい。	1-1-2 タクシー
上大井	16～19 歳	御殿場線の本数を増やす。	1-1-3 鉄道
	20～29 歳	バス等他の交通手段をもっと利用しやすくしてほしい。そうすれば通勤しにくいから引っ越すなどが減り、定住しやすくなると思うし、ひょうたん祭りなどの町内イベント来場者も増えるのではと思う。	1-1-1 バス
		通勤、買物に行く際、電車を利用するとなると御殿場線を利用することが多い。その際、やはり本数が少なく不便である。	1-1-3 鉄道
	30～39 歳	車がないと生活ができないのをもう少し改善して頂けると嬉しいです。交通が不便。大井町は好きですが、交通網を整えてほしいです。	4 全般
		バス…バスの本数も少ない、小さなバスにして本数を増やすとかはできないでしょうか…？	1-1-1 バス
	40～49 歳	交通の便が悪い。御殿場線…子供が通学に使っているのが、時間帯によってはかなり少なく、日中クラブ活動に行くのに10時台や13時台ものすごく不便。スイカで国布津乗り換えができないこともとても不便で困っています。	1-1-3 鉄道
		御殿場線の運行本数を増やす。1本あたりの車両を減らしてでも、本数を増やすべき。最低でも1時間あたり3本にし、6時～24時までにはこれに準ずる。実現できれば、ベッドタウンとなり住民は増えると考えます。また、国府津駅から松田駅については、小田急と共同利用することを提案。JR東海が動かない場合。	1-1-3 鉄道
		御殿場線でスイカを使えるようにしたい。	1-1-3 鉄道
		巡回福祉バスについて。⇒小田原駅やダイナシティまで巡回してほしいです。	1-1-4 コミュニティバス等
	50～59 歳	交通の不便さが暮らしを不便にしている。	4 全般
		バス会社が時間通りに来ない。	1-1-1 バス
		もっと電車の本数も増やしてほしい。	1-1-3 鉄道
		もっとコミュニティバスを出してほしい。	1-1-4 コミュニティバス等
		町内核施設巡回用バスの新設。(幼稚園バス等、稼働時間外車両の有効活用)	1-1-4 コミュニティバス等
高齢者が増える中、鉄道・バスなどの公共機関が全く整っていない。運行・運営の難しさは理解できるが、現状のままだと移動できずに自宅にひきこもる高齢者が増える一方だと思う。通勤・通学のため、国府津まで自家用車で出ている人が多いのも現実。町としてまずは第一にバス・鉄道の整備に取り組むべきではないでしょうか。不便な町の印象を払拭しないと、人は集まらないですよ。		1-1-5 その他	
上大井駅前が汚い。さびれている。昔からの店舗もあるが、良いイメージがないので撤去して再開発。駐輪場は狭くして(立体)イベント等を行なうようにすれば良い。		2 道路・周辺整備	
高齢者の免許証自主返納に伴う特典を町独自の魅力あるものにする。		3 交通施策	

地区	年齢	意見	項目
	60～69 歳	高齢ドライバーの免許返納を推進する為、町内循環バス等の充実化（無料化）を計る。	1-1-4 コミュニティバス等
	70 歳以上	御殿場線の本数を増やしてほしい。	1-1-3 鉄道
		交通の便が悪いので、コミュニティバスを走らせたなら良いと思う。	1-1-4 コミュニティバス等
		高齢者や体の不自由な人などが1人で買い物や用事を済ませられるよう、大井町の主な所に行けるバスを午前と午後1本ずつあると積極的に外出が出来ると思う。外出する事は楽しみの1つにもなり、健康にも良いと思うのでお考え下さい。	1-1-4 コミュニティバス等
		免許証を返納した人でも出かけやすい交通手段を増やしたら良いと思う。	1-1-5 その他
西大井	16～19 歳	交通機関を増やしてほしい。	1-1-5 その他
	50～59 歳	町内のバス運行網の充実。開成駅の活用を視野に入れた交通環境の整備を推進していただける様お願い致します。	1-1-1 バス
		大井町独自でできるものではないが、御殿場線の利便性（本数、運行時間）の向上を進めていただきたい。	1-1-3 鉄道
		交通が不便である。	1-1-5 その他
		富士急バス路線廃止により、自家用車がないと生活しづらい状態にあります。高齢家族の通院も、小田原の病院へ行っています。私も病院は開成町へ行っており、鉄道・バス路線の強化と医療の充実をお願いしたい。	1-1-5 その他
		私のように、他の場所へ勤務する者にとっては、生活の安全性を確保しながら、交通の便を充実させていただくことがありがたい。特に小田急（新松田・開成・栢山）へのアクセスの対策を希望します。	1-1-5 その他
60～69 歳	車免許返納者へ「おでかけタクシー券」を配って欲しい（5千円/月）。	3 交通施策	
篠窪	60～69 歳	他案、小田急渋沢駅・峠地区より神奈川中央バスを延伸し、県道秦野大井線（篠窪バイパス）でBIOTOPIAへのアクセスルートの新設を図り（高尾地区からも新設）、大井町への集客を。併せて地域（相和地区）生活移動手段の確保。（先ずは、土日祭日）	1-1-1 バス
柳	40～49 歳	バスの本数が少ない為、車など足がないと不便。年になると車でずーっと行かれる訳ではないので、田舎になると不便さがあると思います。自然があり住みやすいとは思いますが、病院、買物となると自分が動ける範囲は良いですが、交通の便がよいのが住みやすいと思ってしまう。近い将来、住みやすくて交通の便が良い、福祉サービスが充実している、教育環境の良い町になってもらいたいです。	1-1-1 バス
赤田	16～19 歳	バスの本数を増やして欲しい。	1-1-1 バス
上山田	40～49 歳	相和地区に子供達を含む住民の移住に関して、もう少しアパート・マンション・借家等の賃貸を増やして、とりあえず住んでもらう場所の提供をしてほしいです。その為に公共的に利用出来る交通手段を増やして車を持っていなくても、移動する事が楽になると良いです。	1-1-5 その他
	70 歳以上	私は80才を過ぎたら、自動車運転免許証を返納したいと考えています。この地域は自家用車が主な交通手段ですので、コミュニティバスなどの充実を図っていただければ、なお返納しやすいと思いま	1-1-4 コミュニティバス

地区	年齢	意見	項目
		すのでよろしくお願いします。	等
下山田	40～49 歳	どうして御殿場線はP a s m oやS u i c aが使えないのか理解できません。	1-1-3 鉄道
	70 歳以上	乗る人が居ないのでバスもないのが非常につらい。運転が好きな方にガソリン代+ $\alpha$ 位でお願いできるシステムがほしい。	1-1-4 コミュニティバス等



#### (4) 職員アンケート（施策アイデア）

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
2. 産業立地と居住環境の創出（「金子吉原地区」土地区画整理事業や企業誘致）	公共交通	景観や、交通の利便性	都内在勤の方には交通費を補助し、高所得の方の定住をはかる。
		居住環境の創出に加えて、公共交通の確保が課題	役場北側の区画整理地への流入人口の目標値を達成するために、公共交通（電車・バス等）の充実が必要だと思います。または、自家用車所持への施策があっても面白いと思います。
	整備・住宅	課題：少子高齢化 強み：広く平坦な地形に位置する区画整理の整備	高齢化社会のため高齢者向けサービスが増えているが、人口増加に繋げるためには若い世代（特にこれから子育てを始める人）の定着が必要。古い既存の子育て支援センターを区画整理地内に移設し、相模金子駅・上大井駅を廃止し区画整理地内に御殿場線の駅を設置する。子どもを連れて動く場合は行動範囲が限られるため、役所の手続きや公園、スーパーが狭い範囲に集合し、本数が少なくても御殿場線の駅が近くにあったほうが良い。町内で子育てが始まり、子どもが町内の園や小学校に上がった後では他町に動くことを避けると思われるので、定住が期待できる。
15. 市街地の整備	スマートタウンの推進	スマートタウンの推進、区画整理地の存在	区画整理地内に、付近住民が無料で使用できるカーシェアを整備する。その車にはEVを使用することで、非常時には蓄電池として使用できる。
		相和地区の人口減少による限界集落化	中心市街地を活用したコンパクトシティの実現
		土地区画整理事業の推進	土地区画整理事業をきっかけに目玉となる新たな取り組みを推進しても良いのでは。自動運転車両の走行、EVカーシェアリング、エネルギーの地産地消

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
	空き家問題	<p>課題：人口減少による空き家増加、担い手不足による遊休農地の拡大</p> <p>強み：大井中央土地区画整理事業による新たな市街地の整備、里山、再生可能エネルギー</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進行する中、大井中央土地区画整理事業（財政投資）は本町にとって大きな強みである。しかしながら、全国的に人口減少が進行する中、どの様に定住促進を図るかは大きな課題であるため、定住促進に向けては、本町の強みをいかし、各施策による課題解決も見据え、時代に即した新たな付加価値を創出する必要がある。</p> <p>【各施策の課題解決と強みを生かしたビジョン】・新たな中心市街地での暮らしによる付加価値エネルギーと防災対策、<b>カーシェアリング</b>及び農地シェアリング、子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山暮らしによる付加価値</li> </ul> <p>空き家の活用と農地利用</p> <p>※残していくもの、新たにつくりあげる物を敢えて差別化することで相互の強みを強調した施策として展開する。（移住・定住にあたって選択肢を確保）</p>
16. 道路や水路の整備	道路計画	<b>御殿場線がジャマ</b> 。相和へのアクセスが悪い。	上大井地域における 255 号線と県道国府津線を繋ぐ道路を計画する。更に下山田地域への直線道路を作り、エバラの道路で赤田地域へとつなぐ。（新たな都市計画道路）
		都市計画道路の完成	都市計画道路の完成により、新たな道路網が整備されることにより、より良い物流の拠点となり、企業誘致の強みとなる。
		歩道のバリアフリー化が遅れている。	町が行おうとしている事業に合致した国庫補助事業のメニューを活用した整備。
	道路整備	駅周辺の道路拡張	<b>相模金子駅周辺の道路の拡張</b> し、車と自転車・人が余裕がもてる道を整備する。
		赤坂の歩行者の危険防止	上大井駅前から山田方面へ上る赤坂の幅員拡張。
19. 鉄道・バス路線網	交通網の充実	公共交通機関の強化（課題点）	町外の方が大井町へ訪問する際、町内の公共交通機関が御殿場線及び富士急バスしかなく、本数も少ない。今後、公共交通機関の各社に本数を増加してもらうよう要望するとともに、 <b>町独自でコミュニティバスを創設する</b> などの施策が必要ではないかと感じる。
		本数の減便	鉄道は、利用者の促進。 バスは、 <b>コミュニティバスの活用</b> 。
		電車・バスのアクセスが不便である	<b>路面電車を走らせる</b> 。この辺りではあまり見ないので、観光効果も期待できる。
		鉄道やバスがない地域もある中である程度確保されているが、自家用車を手放すほどには整備されていない	<p>【自動運転車両の導入】</p> <p>鉄道やバス、高速道路のアクセスがさらに良くなれば、物価が高い都会ではなく、少し離れた県西地域に住もうと考える人もこれからもっと増えてくると思います。また、高齢になっても交通の足の不安がなくなる地域であれば、生涯大井町に住もうと考える人も多いと思います。町の福祉バスを無料で利用できるようにしているのは、県内でも数少ないかと思いますが、<b>より多くの方に利用してもらえよう民間のバスがない時間帯を補う形</b></p>

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
			で、自動運転の車両を入れていくような施策が良いのではないかと思います。現段階での実装は難しいですが、近い将来可能になると思うので、企業の実証実験を誘致してみるのもいいと思います。
		そうわ地区における交通の確保	そうわ地区の路線バスが無くなり、交通を確保することが重要課題となる。相和地区の活性化が町の発展につながる。
		交通網の整備	御殿場線やバスの本数を増やして、車を持っていない人でも移動手段の心配をしなくてよくなるようにする。
		大井町を訪れる際の交通網の強化	何年にもわたって取り組みを続けているが、御殿場線において JR 東日本の路線からの乗り換えに IC カードが利用できないことは非常に不便であり、大井町を訪れにくい原因の一つとなっている。 町レベルでは JR 東海と東日本に取り合ってもらえないのであれば、BITOPIA へアクセスしやすくなり、来場者の増加も考えられることを神奈川県へアピールし、県知事レベルで JR に働きかけてもらう。且つ、上大井駅からの BITOPIA 行きのバスの本数を土・日・祝日だけでも頻繁に運行する事を約束し、県にとっても旨みの有るようにする事で、JR へ働きかけてもらうための土壌を作る。
		県西地域は国内有数の鉄道網の密集地	人口の増減率と公共交通網の充実度は高い相関がある。既にある交通網を補完する新たな公共交通の整備が必要。
		本数が少なく、不便	福祉バスの増便及び新松田駅を經由するようにする。
		鉄道・バスともに利用者が少ない	バスアプリを使用すると、意外にバスが便利だと気付く。電車よりも自宅に近い場所で乗り降りできることが多いので、特に子育て世代に知ってもらうことで、利用促進できるのではないかと。多くの方は、バスを利用することが少ないかもしれないが、無いと困る交通手段だと思う。
	鉄道	鉄道が不便	御殿場線の本数が少ないため不便である。また、IC カードがようやく使用できるようになったが、国府津方面では使用できず、意味がない。したがって、通勤で使用するには不便で、この街に定住しようという決断をしにくい環境になっている。イベントに関しても同様。せめて IC カードを利用できるようにしたい。
		公共交通機関が十分に機能していると言い切れない	近隣市町村等とも連携を図り、JR 各社の鉄道を越境して IC カードを利用できるように JR 東日本、JR 西日本各社や国に対して要望活動を行う。併せて JR 東海に対し、御殿場線の増発を要望する。
		御殿場線の利便性向上	観光客のため、御殿場線以外の路線を含めた IC カードの利用
		公共交通機関の利便性が悪い	御殿場線新駅の要望（例：相模金子・上大井を廃止、大井中央に新駅） 駅の周りに駐車場の整備

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
バス	鉄道等交通手段の確保	御殿場線の利便性がないが、経路により小田急、JR東海道の双方が選択できる立地性。	御殿場線の利便性を高めるため、相模金子駅に車での送迎用の待機所を設ける。また、上大井駅に屋根がある駐輪場を設ける。
		御殿場線の本数が少ない	御殿場線の本数が少ないため、町外の人に来るには自動車を使うしかない。大井町は自然が豊かなところがPRポイントなので、まち歩きをする人が増えれば、大井町の魅力も伝わると思う。なので、歩きでも来やすいように30分に1本でも御殿場線の本数を増やすべきである。
		鉄道等交通手段の確保	長年の懸案であるが、町内外の異動手段がない。福祉バスが導入されたが、根本的解決には至らない。公共交通機関の増設、増便に向けた取り組みが急務。
		公共交通網の充実	巡回福祉バスを廃止し、誰もが利用できるコミュニティバスを創設する。
	バス	交通網の整備（コミュニティバス等の充実）	少子化、超高齢化、人口減少対策として、各所管課で様々な施策を打ち出しているものの、整合がとれておらず、町としてのビジョンも明確でない。後付けの事業が多い。区画整理事業等で流入人口の増加を目指すなら、誰もが利用できるコミュニティバス等の充実を図り、住みやすさをアピールするしかない。（御殿場線は、聖地巡礼をめざしては？）
		都市計画道路のバス路線開設	第6次総合計画の計画期間中に都市計画道路の紫水大橋－国道255号間が開通する可能性があるが、この都市計画道路はJR（相模金子）・小田急（開成）・大雄山（和田河原）の3鉄道を結ぶ路線であり、バス路線を新たに開設すべきである。
		課題：交通網の充実 比較的近い範囲で小田急線の4駅に連絡できる	小田急線4駅（栢山・開成・新松田・渋沢）それぞれから町内のある個所（例えば山田グラウンド等数か所）までを近隣市町と連携してバスの交通網をつくる ①それらの停車場所を結ぶ町内の巡回バスをさらに走らせる。 ②町内に指定した各停車場をパーク&ライドのように駐車場付きにしてバス利用と結びつける。
		コミュニティバス等の運行	交通弱者・運転免許返納者・遠距離通学者等への支援 近隣市町との連携 割引・回数券・定期等の導入
		バスの本数が少ない	バスの本数を増やす。
		町域面積の小ささ	コミュニティバス等巡回バスの運行
		課題：交通の便の悪さ 強み：新道路の開通	国道255から南足柄まで抜ける道に路線バスを開通。富士フィルム等への通勤や小田急開成駅の利用の利便性を強みとする。
		バスの本数が少ない	町の巡回バスをもっと有効活用できるようにしていく。また、バスの模様をもっとインパクトのある、大井町らしさを表現したものにしていく。
		強み：立地	町巡回バスの事業拡大、民間企業との協働

施策	分類	①課題や強み	②課題に対する新たな施策・事業 強みを生かした新たな施策・事業
		課題：路線バスの本数が少ない	
	その他公共交通	公共交通機関の増設。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料自転車の貸し出し</li> </ul> 役場、町施設、駅等で自転車の貸し出しを行い、町の散策等での活用。 また、近隣の町と一体となって取り組むことで、イニシャルコスト、ランニングコストの削減につながる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町巡回バスの増設</li> </ul>
		相和地区の交通網	既存の鉄道・バスの展開は望めないことから、斬新な交通手段等を導入し、地域の交通や観光の目玉とする。 （ゴルフカートなど安全な簡易な道路網の整備し、地域住民や観光客に利用してもらう。シェアカート等）